



帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2025 03 30

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール


- ◆ 薬学科の説明（是非ご参加ください）（3階303教室）
10:10~10:35 12:40~13:05
- ◆ 模擬授業（3階303教室）「抗菌薬との上手な付き合い方」
10:35~10:50 13:05~13:20
- ◆ 薬育デモンストレーション（3階303教室）
「実際の“薬育”の様子を見てみよう！」 10:50~11:00 13:20~13:30
- ◆ 体験実習（3階318教室） 時間予約制：303または318教室で整理券を配布します。
「軟膏の混合調剤を体験してみよう」
11:10~11:40 / 13:00~13:30 / 13:30~14:00 / 14:00~14:30
14:30~15:00
- ◆ 体験実習（4階436教室 SGDルーム）
「薬剤師の仕事体験（実習）」 10:00~15:00
1) ロボットシミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
2) Webシステムを使って、オンライン服薬指導を体験
- ◆ オープンラボ（4階416研究室）
「体の中の色々な組織や細胞を見てみよう！」 10:00~15:00
- ◆ 学生交流・進学相談（4階436教室）
「薬学部のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」
10:00~15:00
- ◆ 薬用植物園見学（7階 エレベーター横） 10:00~15:00

模擬授業 10:35-10:50 13:05-13:20
303教室 (3階)

抗菌薬との上手な付き合い方 —薬剤耐性菌の拡大を防ぐために—

細菌やウイルスなどによって引き起こされる病気のことを「感染症」といいます。この感染症の中で、細菌が原因で引き起こされる病気に有効なのが、抗菌薬です。一方で、1980年以降、従来の抗菌薬が効かない「薬剤耐性」を持つ様々な細菌が世界中で増えていて、医療現場での感染症治療にも大きく影響しています。また、今後も抗菌薬の効かない感染症が増加すると考えられています。この薬剤耐性菌の拡大を防ぐためには、感染症にかからないように感染対策をすることに加えて、抗菌薬が無効なウイルス感染（風邪など）に抗菌薬を使用しないという取り組み、すなわち、抗菌薬を適切に使用することが重要となります。また、抗菌薬の服用を途中で止めてしまうことや飲む回数を減らして服用することなどは、十分な効果が期待できないことに加えて、新たな耐性菌が出現するリスクを高めることとなります。そのため、薬剤耐性菌の拡大を防ぐためには、抗菌薬を適切な量で適切な期間、服用することも重要となります。本学の薬学部の学生は、このような抗菌薬の知識を正しく学び、医療現場で活躍できる薬剤師を目指しています。

城西大学大学院（修士課程）修了後、横浜総合病院薬剤部で21年間臨床薬剤師として勤務。2024年4月より現職。
博士（薬学）、抗菌化学療法認定薬剤師、感染制御専門薬剤師



抗菌薬と上手に付き合いっていくことが、薬剤耐性菌を発現させないための秘訣です。そのためには、抗菌薬の特性を正しく理解する必要があります。

准教授 佐村 優
病院薬学ユニット

“薬育”デモンストレーション 実際の“薬育”の様子を見てみよう！

会場・時間

学科説明会場 (3階 303教室)

第1回 10:50～ / 第2回 13:20～

(学科説明、模擬授業の後、10分間で行います。)

- 現在薬剤師は、地域住民の予防や未病に積極的に係る健康サポート役割が求められています。
- “薬育”とは、薬学生が小中学校や高齢者施設等へ赴き、医薬品の適正使用や薬物乱用防止など健康な身体をつくるための教育活動です。
- 本学では2018年に開始し、2021年からは地域連携部の学生を中心に、継続的に行っています。
- 2年生後期のセミナー科目でも、学生同士で行う“薬育”を取り入れています。
- 実際に学生が行っている様子をご覧ください！



- 担当 薬育・地域連携委員会 地域連携部

体験実習

軟膏の混合調剤を体験してみよう！

会場・時間

調剤実習室（3階 318）

11:10～11:40 / 13:00～13:30

13:30～14:00 / 14:00～14:30 / 14:30～15:00

時間予約制：整理券を配布します

- 薬剤師は、処方箋に基づく調剤を行う際、錠剤、散剤、水剤、外用剤など様々な剤形を扱います。
- 調剤は、製品をそのまま使用する場合と、複数の薬剤を混合して包装したり、容器に充填することが必要な場合があります。
- 今回は、軟膏をへらを使って混合し、容器につめてみましょう！



- 担当 薬学臨床教育研究センター
社会薬学教育研究センター

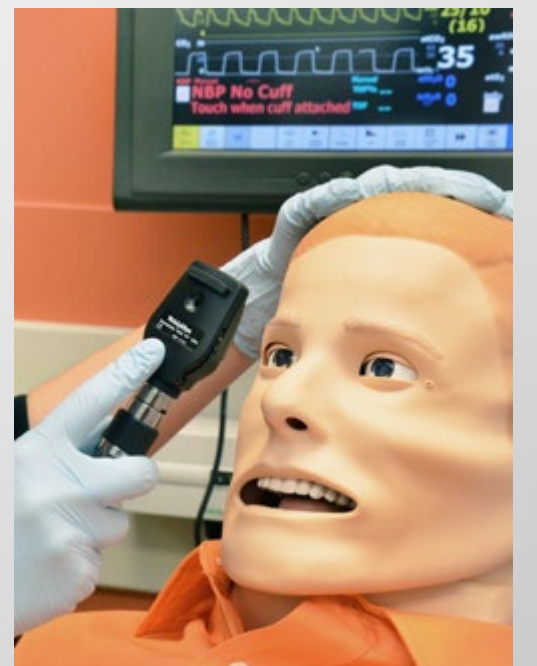
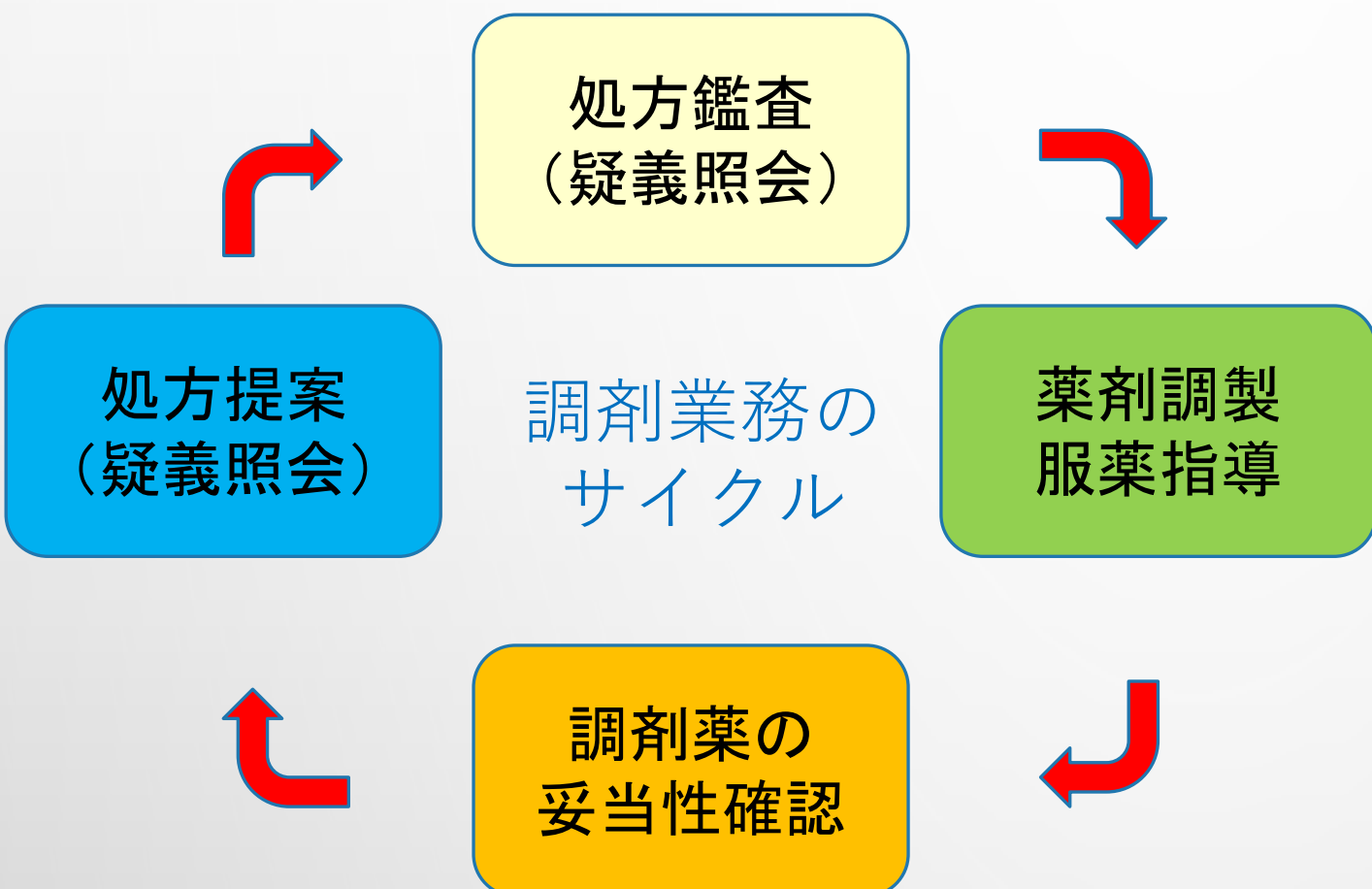


薬剤師の仕事体験（実習）

- 1) ロボットシミュレーターを使って、フィジカルアセスメントを体験
- 2) WEBシステムを使って、オンライン服薬指導を体験

会場：SGDルーム（4階 436）

フィジカルアセスメント体験：薬剤師が視診や聴診、触診などによって患者さんの 全身状態を評価すること、いわゆる「フィジカルアセスメント」を行うことにより、副作用の防止や薬物療法の効果の判定に寄与することが出来ると期待されています。



お薬はちゃんと効いているのか？
副作用は出ていないか？

薬剤師に求められる新たな技術

薬剤師からの聞き取り
患者さん自身の訴え
患者さんの外観
臨床検査の値



皮膚の状態、むくみ、脈拍
呼吸の音
心臓の音
お腹の音

基本的項目

フィジカルアセスメント

オンライン服薬指導体験：感染などの状況があっても薬剤師と患者の信頼関係を常に継続することが可能となります。

外来通院

- ・他科受診
- ・多剤服用
- ・OTCとの併用
- ・サプリメント等の併用
- ・勤務時間との調整 etc.

在宅療養

- ・服用、嚥下困難
- ・一包化、粉碎
- ・管理困難
- ・介護者不在の時間 etc.

担当教員
井手口直子, 栗坂知里,
山元健太

オープンラボ 体の中の色々な組織や細胞を 見てみよう！

会場：416教室（4階）
時間：10:00～15:00

私たちの体の中には、胃、小腸、肝臓、腎臓など様々な臓器や組織があり、それぞれに固有なはたらきや構造をもっています。これらの組織は、違った性質を持つ様々な細胞から形づくられています。

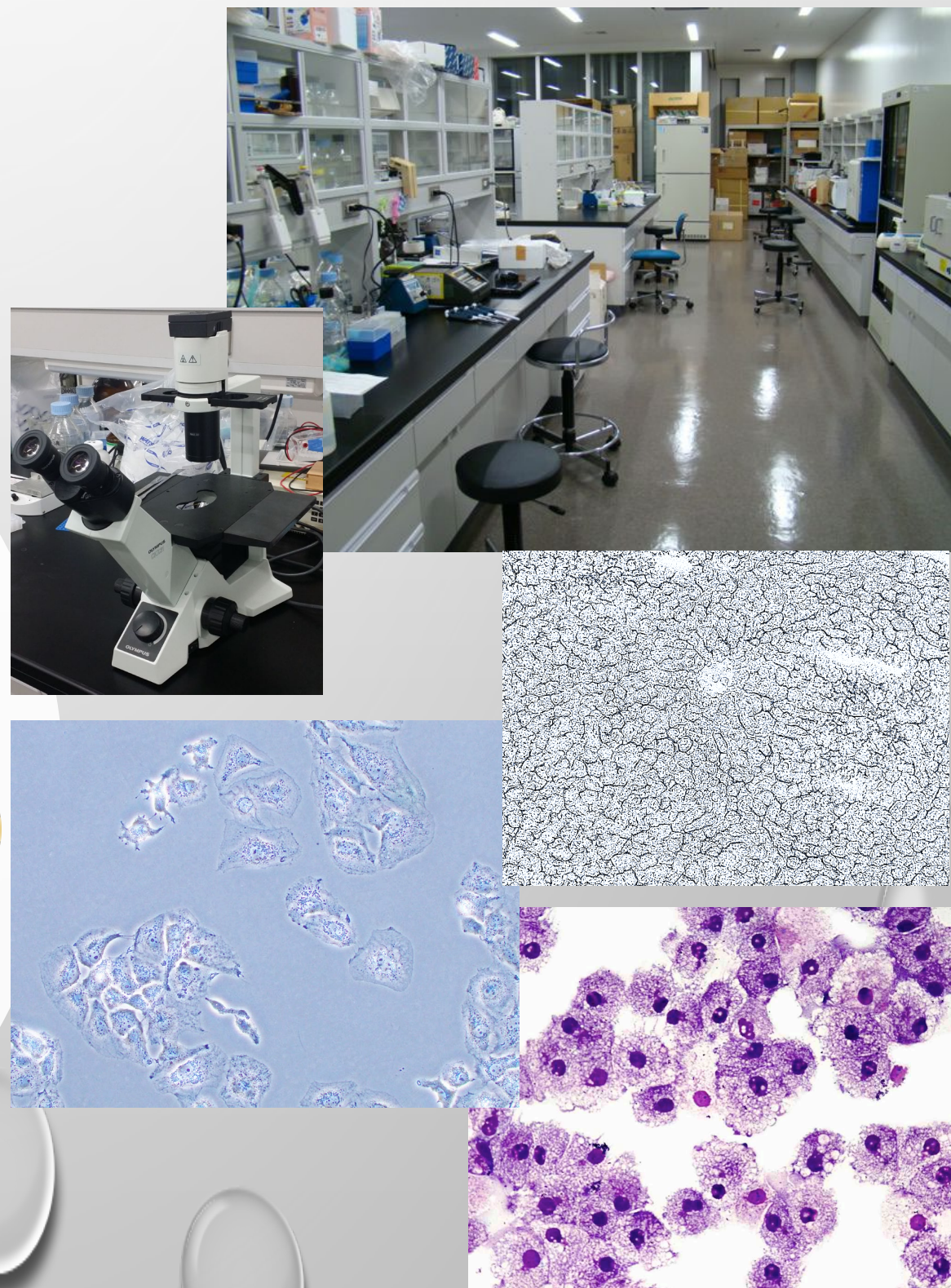
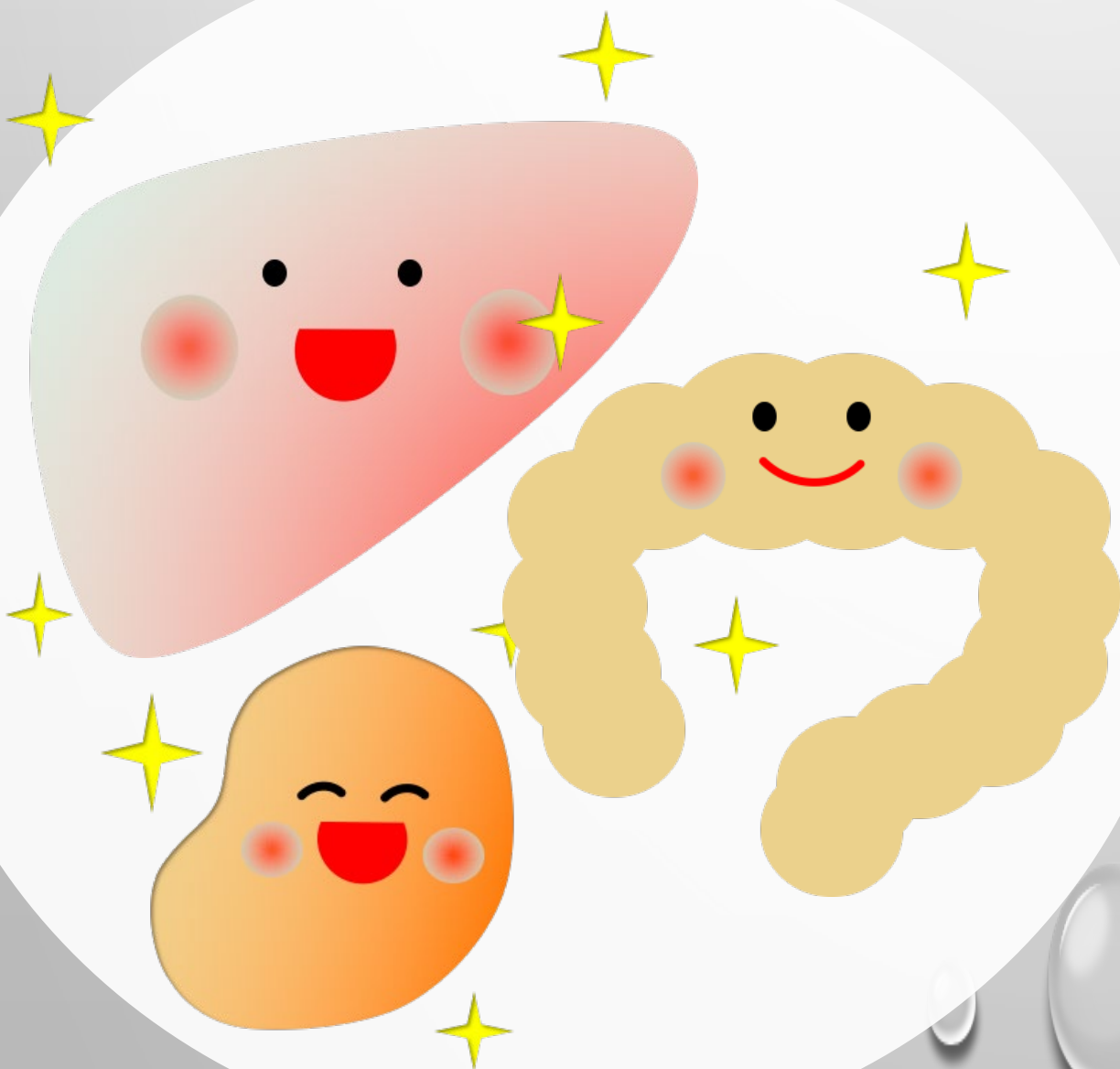
薬の作用や体の中での運命を学ぶ上で、これらの臓器や細胞の構造について理解することは非常に重要です。オープンラボでは、顕微鏡を使って色々な臓器や細胞を観察してみましよう！

担当教員

薬物動態学ユニット

濱田和真

中埜貴文



おすすめコース

Aコース

調剤体験(318)



学生交流・相談(436)



フィジカルアセスメント体験
(436)



オープンラボ(416)



薬用植物園
(7階エレベーター横)

Bコース

薬用植物園

(7階エレベーター横)



オープンラボ(416)



学生交流・相談(436)



フィジカルアセスメント体験
(436)



調剤体験(318)

※調剤体験は時間予約制です(整理券を配布します)。

時間: 11:10~11:40 / 13:00~13:30 / 13:30~14:00 / 14:00~14:30 / 14:30~15:00